



マレーシア留学体験記

法文学部人文学科多元地域文化コース 4年 上床蘭

2022/10～2023/7 マレーシアプトラ大学

☆多民族国家マレーシア

複数の民族が暮らしているため、文化も様々。マレー系(69%)が最も多く、次に中国系(23%)、そしてインド系(7%)と続きます。公用語はマレー語ですが英語もよく使われているため、日常生活で英語が通じずに困ることはほとんどありませんでした。映画や町の標識も多言語で、多くの言語に囲まれて過ごせたのがとても刺激的でした。



☆食の楽しさ

様々な文化があれば食も様々！マレーシアで食に困ることは無いと言っても過言ではありません。マレー料理、アラビア料理、中華料理、タイ料理、日本食などを日常的に楽しむことができます。日本では味わえないエキゾチックな味を楽しめるのがとても幸せでした。



☆祝日・行事

ディーバパリやCNY、ハリラヤなど頻繁に行事が行われ、大学が休みになることも多いです。初めて体験したラマダンでは、現地の人に合わせて日暮れとともに夕食を取る体験ができ興味深かったです。



☆貴重な出会い・温かい人々

非常に寛容でフレンドリーな人達が多いと感じました。子どもや動物にも優しく、余裕のある心を持って生活している人たちに出会うと、自分の心の持ちようについて考えさせられることが多かったです。



～大学生活～

- ・講義は2時間と1時間の講義を2日に分けた合計3時間で構成
- ・グループワークが中心
- ・学内はバスで移動
- ・カフェテリアが充実
- ・大学内に動物が多い(猫・リス・トカゲ)
- ・休講が多い

～マレーシア生活での発見～

- ・トイレの難易度が高い
- ・猫が多い
- ・映画館の料金が破格
- ・日系企業・日本食が充実
- ・意外と暑くない(?)
- ・電子決済が便利
- ・エスカレーターが頻繁に止まっている
- ・フルーツ美味しすぎ